

令和6年度 福島大学人間発達文化学類
スポーツ健康科学コース 総合型選抜試験

小論文

<注意事項>

- ・ 解答は指定された解答欄に記入すること。
- ・ 解答は横書きとし、字数は指定を超えないこと。
- ・ 句読点、引用符、括弧などはいずれも1字に数える。ただし、行末の句読点などは字数に含まれないものとする。
- ・ 算用数字およびアルファベットが連続する場合は、1マスに2字を入れる（1字と数える）。

【問題】

資料「生涯スポーツ時代の学校体育の不易と流行—学校と地域が協働するスポーツカリキュラム—」（2018年5月20日 現代スポーツ評論38）の抜粋である。資料を読み、設問に答えなさい。

<設問1>

筆者の考える学校体育における「運動」と「スポーツ」の不易な点について、300字以内で説明しなさい。

<設問2>

今後の生涯スポーツ社会を創造していくために、学校と地域はどのように協習（協働して学習）していくべきか、あなたの考えを700字以内で述べなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法等の問題から公表することができませんのでご了承
承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法等の問題から公表することができませんのでご了承
承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法等の問題から公表することができませんのでご了承
承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法等の問題から公表することができませんのでご了承
承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法等の問題から公表することができませんのでご了承
承願います。

令和6年度入学試験 小論文「出題意図」

(入試情報公開用)

人間発達文化学類 総合型選抜 (スポーツ健康科学コース)

生涯スポーツ社会を創造していくための学校と地域の協習（協働して学習）に関するスポーツカリキュラムについて言及している資料を提示する。その上で、次の2点について評価する。

1. 「生涯スポーツにおける学校体育の不易な点」について、文章中からの的確に読み取り、説明するための理解力、表現力をみる。
2. 文章の内容を踏まえた上で、「今後の生涯スポーツ社会を創造していくために学校と地域がどのように協習していくか」について、自分の考えを分かりやすく論理的に表現する力をみる。